

環境中期計画における二酸化炭素(CO₂) 排出量削減の成果

- 数値目標と最終結果について -

日本郵政公社では、発足時に「環境基本宣言」を制定し、省エネルギーや省資源などの環境負荷削減に向けた取り組みや、地域の一員として環境保全への取り組みなどの環境に配慮した経営を行っていくことを内外に明示しました。

平成16年度には、3か年を対象とした環境中期計画を策定し、地球温暖化ガスの主要因である二酸化炭素(CO₂)の排出量を平成18年度末までに平成14年度レベルから2.2%削減する数値目標を掲げて取り組んでまいりました。

数値目標である二酸化炭素(CO₂)の排出量の削減については、環境中期計画の中間年度である平成17年度末までで、平成14年度レベルから1.8%削減まで進捗している状況で、環境中期計画の最終年度となる平成18年度を迎えました。

環境中期計画の最終総括

環境中期計画 3年間の数値目標

平成18年度のCO₂排出量を2.2%削減(平成14年度比)

最終結果

CO₂排出量を3.4%削減(平成14年度比)

施設管理、車両・輸送ともに目標を超えて達成したため、公社全体でも目標である2.2%削減を大きく超えて達成しました。達成の主要因としては、次のことが挙げられます。

【施設管理】着実な省エネルギー診断の推進や記録的暖冬による燃料使用量の激減など

【車両・輸送】積載効率の向上に基づく臨時便数の減便や、取集便の見直しなど

【注意】環境中期計画におけるCO₂排出量の数値目標および最終結果は、すべてサンプリング調査に基づく推計値ベース

▶▶ 詳しくは21ページから26ページにてご紹介していますので、そちらをご覧ください。